

キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。



- 1_ 白馬に乗る私。動物が好きです
- 2_ 杭に防腐剤を塗っている様子。約150本作りました
- 3_ 大鎌での草刈りは大変でしたが、肉体労働した後のご飯は美味しい!

Q 協力隊になった経緯を教えてください
 大学卒業後、岩泉町にある中洞牧場で約2年間働きました。広大な山、牛が草をはむ音など山地酪農が織りなす牧歌的な風景は、人と自然が共生する環境だからこそ美しいのだと知りました。そして、私も人と自然をつなげるフィールドをつくりたい、という思いが膨らみました。

遠野には、遠野物語や曲り家など、自然を敬い共に生きてきた文化が残っています。かつて馬や牛が駆けていた高原を、山地酪農で再び豊かにするこのプロジェクトに引かれ、協力隊に応募しました。

Q 活動内容を教えてください
 附馬牛町の大洞牧場跡地で、牧場を造っています。牧場が使われ

山と牛と人が共存する暮らしを「山地酪農」で実現したい
 戸田 苑美 隊員 埼玉県出身・25歳
 (2023年10月着任)

移住し、挑戦中! 戸田さんのプロジェクト「山地酪農」

ていた20年以上前は草原が広がっていたのですが、今は草木が伸び放題になっています。地域の人が道具の使い方を教わり、生い茂る野バラやワラビの刈り払いや辺り一面に生えているクルミの伐木など、山の開拓をしています。また、牧欄にする杭を作って打ち込んだり、小屋の修繕をしたりして、牛を迎える準備をしています。

Q 今後の目標を教えてください
 自然と共生する環境の中で私自身が感じた、物やお金だけでは無い真の豊かさを、もっと多くの人に気付いてほしいです。そして、遠野に暮らす人々と共に、遠野をもっと豊かにしていくことが目標です。そのためにまずは、山と牛と人が共存する暮らしを、山地酪農で実現します。牛と触れ合ったり、広いフィールドを生かしたイベントなども実施したりする予定ですので、ぜひ牧場に来てください!

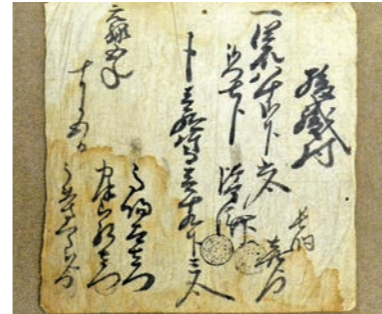
info. 「地域おこし協力隊」とは?

市は平成28(2016)年から、総務省の「地域おこし協力隊制度」を活用し、地域活性化に意欲を持つ人を市内外から採用しています。採用されたメンバーは約3年の任期中、地元企業や生産者、地域の皆さんと連携しながら

ら>ホップ>歴史>文化——など、遠野の人々が育ててきた豊かな地域資源を活用した地域おこしに挑戦。ヨソモノならではの視点と都市部の企業などで培ったスキル・経験を生かし、遠野のために活動しています。

遠野の歴史文化を紹介 遠野史歴訪

本コーナーでは、あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。遠野遺産なども紹介します。



千葉家文書の中で最古の文書 「元禄5(1692)年」の年貢の納付証明書

千葉家文書は、重要文化財田千葉家住宅に保存されていた約7千点の文書史料を指すもので、いわゆる「くずし字」で書かれた近世文書をはじめ、戦時中の軍事郵便、昭和の日記、地図など、江戸時代から平成までの多様な史料が含まれています。こうした古文書からは、千葉家の歴史だけではなく、綾織町や本市の歴史をうかがうことができます。

千葉家文書の中で最古のものは元禄5(1692)年の年貢の納付証明書です。史料は約10センチ四方の薄い和紙1枚ですが、この史

料からは①長洞喜右衛門(千葉家の当主)が綾織村に4石8斗2升6合の石高(生産高)を持っていたこと、②その年貢率は2割7分であること、③その年貢を「皆済(納付完了)」していること、というように、たった1枚の古文書でも、そこには多くの情報が記録されています。

また、近代の日記史料が豊富であることも千葉家文書の大きな特徴です。特に、明治45(1912)年に行われた千葉家の土蔵建て替え工事は、関わった職人や上棟式といった工事の詳細が、日記によって明らかにされました。

「古文書は難しい」というイメージを持たれることが多いですが、文字の形は違っても、その中に込められているのは、今と変わらない人々の営みです。市史編さんのための古文書の調査・保存整理は、これからも続きます。まずは古文書を身近に感じてもらうこと。そしてその魅力を伝えられるように今後も紹介していきます。

古文書の魅力、千葉家文書から

第156回 **遠野遺産** *The Tono Heritage*

遠野遺産認定第149号「複合遺産」(平成28年8月21日認定)

下同心丁枡形と法華題目の碑

「下同心丁枡形」は寛文6(1666)年、南部直栄が敵の攻撃から城下町を防御するために、関門3カ所に設けた枡形の一つです。市内で唯一現存している貴重な史跡であることから、市指定文化財となっています。

この史跡内にある「法華題目の碑」は、信仰のあついで南部氏が飢饉などに苦しむ領内の平安を願い、「成仏弘法」の語録を石碑に刻み、弘化3(1846)年に建立したものです。どちらも貴重な文化遺産として、周辺の清掃や花壇の手入れがされるなど地域で大切に守られています。



- MEMO**
- ☑ 下組町104番1号、2号、114番1号、4号、227番1号、4号
 - ☒ 釜石自動車道遠野インターチェンジから車で3分
 - ☎ 遠野地区センター (☎62-4411)